

会 議 録

1 会議名

令和5年度第16回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

- ・次期委員への引継事項について（公開）

3 開催日時

令和6年3月19日（火）午後5時30分から午後6時00分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 青山恭造（会長）、田中美佳（副会長）、磯田一裕（副会長）、
今川芳夫、久保田幸正、坂井芳美、田中 実、田村雅春、古澤悦雄、
増田和昭、水澤敏夫、水島正人（欠席者4名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、小川係長

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：古澤委員、増田委員に依頼

議題【協議事項】次期委員への引継事項について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

・資料No.1「直江津区地域協議会 次期委員への引継事項」、参考資料「第4期直江津区地域協議会 取組概要」に基づき説明

本日は、引継事項について修正、追加等のご意見をいただき、協議いただきたい。

【青山会長】

次期委員への引継事項について協議する。

1 地域活性化の方向性、2 自主的審議事項について意見等はあるか。

【磯田副会長】

各区で引継ぎの内容は、ばらばらな部分があると思うが、新たな委員が募集されて新しく変わっていく中で、市の地域協議会での役割や責務、或いはやっていくことをきちんとオーソライズした会を、なるべく早い段階でやっていただきたいというのが市に対しての要望である。地域政策課になると思うが、どういう改正をしていくか等について、自治プロジェクトの中で庁内で検討していると思うが、なかなか委員のところまで下りてこない、或いはこういった姿で向かっていくというところが見えてこないのので、改選後すぐにでもそういう機会を作っていただき、市でどのようなスケジュールでいこうとしているのか、情報をいただきたい。

【古澤委員】

今ほどの意見は市への意見だが、私も4年前に入ったときに、会議に出ても全くわからない。2回、3回出てもわからない。説明は全くなしで会議を進めた。時間も当時は6時半から始まり9時頃まで喧々諤々とやったと思う。そういったアフターケアのようなものが全然なかった。次回残るときに直江津区地域協議会については、この項目でこうなったというものをきちんと説明していかないと、これからまた新しい人が入ると思うが全くわからない。私も家へ帰っていろいろ見て、2ヶ月ぐらい経ってから自主的審議事項はこうなのかと分かった。その間に増田委員の講座等があり、出させていただいてわかったのではないかと思う。意見を言う方は一方的にどんどん言ってしまっていて、わからない。協議会の中で皆さんをまとめていくには、それではいけないということと、何回も言うが、意見を言う方がいいが、やはり皆さんから意見を求めていかないと、本当のいい意見が出ないのではないかと強く感じている。もしも次期に出ることあれば、そういったものを新しい方々の場に立っていろいろとやっていきたいと思うし、どなたが会長、副会長になるかわからないが、そのあたりについてきちんとやっていただきたいと思う。

【青山会長】

今の古澤委員の質問に関しては、参考資料「第4期直江津区協議会 取組概要」を読んでいただければオーソライズできると思うので、これをしっかり読んで次期につなげてもらいたい。

【古澤委員】

読んでも新しく入った人はわからない。どういう経過でこうなったということがあればわかるが、いきなり入ってもわからない部分があると思う。そのあたりについても次期は丁寧にやっていただければと私は強く思う。

【増田委員】

今古澤委員がおっしゃったとおりで、前は委員改選があった後にコロナがあり、なかなか会議を持てなかった事情があったかもしれない。その中でも委員になった途端に、「地域活動支援事業について審査してください」といった話があり、全くわからないということになっていた。私たちは次期委員に引き継ぐにあたり、そういったことのないようにしっかりと心配りをしなければいけないと思っている。ついでに、今わかっている市の予定、例えば今期の始まる時はなかったが、その前は市内の全委員を集めて市長の話聞いたことがあった。前は地域政策課の人がここに来て、地域協議会とはなにかといった説明をしたような気がするが、そういう予定が今どこまで決まっているか聞かせていただいた上で、それにプラスして直江津区地域協議会として、あと2回くらい委員の皆さんと意見交換をしながら、今までこういうことをやってきたということをお願い丁寧に伝えるということが必要だろうと思うので、これは私からも強く提案したいと思う。そのときに使う資料は、前回の第4期活動報告がある。今青山会長がおっしゃった今回の参考資料よりも詳しく書いてあるので、できればこの資料に基づいて、しっかりと説明をする。説明は、事務局がやるかもしれないが、抜けたところは、継続する委員の皆さんが丁寧に説明をするというような体制が是非必要だと思う。

【青山会長】

そこは、新しい委員が決まったときに勉強会という形で持ってはどうか。新しい委員で新しい考え方で進めてもらう。

【増田委員】

継続する人にそのことをよく収めてもらい、そういうふうをお願いしたい。

【青山会長】

他にあるか。

【磯田副会長】

市の動きを教えてもらいたい。

【小川係長】

日程はまだ確定していないが、次期は全市の委員が一堂に会した委嘱状交付式を計画していると聞いている。

【青山会長】

その他にあるか。

【水島委員】

この話は、前回の活動報告会でも少し話をさせていただいた。先ほどの古澤委員、増田委員と、私も同じ意見である。これは私の持論だが、地域協議会に入る方々というのは、なんとかこの上越市を良くしよう、少しでも今まで苦であったところを、楽な状況にしよう、小さなことからコツコツと、なんとかやっけていこうと思って入っただけになると思う。ところが、意見を出しても取り合ってもらえない。意見を言うと、「まだそんなこと言ってるのか。なんでそれがわからないんだ。それ違うんじゃないか。これに書いてあるじゃないか」というようなニュアンスの言い方をされる方がいる。そうすると、先ほど古澤委員がおっしゃられたが、「しゃべる人はいいですよ。発言される人はいいですよ」。そうではない。1時間、1時間半、非常にあの人の意見を聞くのは実は苦痛である。いいこともたくさん言われる。これも持論だが、身にはなる。ただし、それをずっと1時間半聞いているというのは、実はそんなに簡単ではない。それを毎回毎回続けられると、嫌になってくる。これも前回お話させていただいたが、失礼な話だが、こういう会であれば、途中でエスケープさせてもらおうかという時期があった。そのときに助けていただいたのは、水澤委員である。水澤委員は、普段はあまりお話にならないが、非常に私の話をよく聞いていただいて、「それはこうだよ、ああだよ」とアドバイスしていただいた。そうした中で、隣にこれだけすばらしい方がおいでになるのであれば、もう少し続けようということで4年間続いたことも事実である。そのように、なにかをやろうとすると壁に必ず当たる。例えば、文言がわからない、やり方がわからないなど、いろいろな壁に当たる。そのときに、ちょっとしたアドバイス、ちょっとした相手からの意見で助かることが実は随分ある。古澤委員がおっしゃられたが、コロナでなんの勉強会もしないで入ってしまった。そうすると文言がわからない。私もいただいた本を幾

つか読んでみたが、そんなに簡単に頭の中に入ってくるわけがない。それが現実である。私はどうなるかわからないが、新しい地域協議会がまたできるわけなので、せつかくこれだけ上越市を良くしようという人たちが集まったいい会になるので、是非皆さん仲間をつくりあって、いい会にしていていただきたい。周りから見ていると、非常に嬉しい状況になるのではないかと期待をしている。

【田村委員】

私の思いも少し入っているかもしれないが、一言皆さんに。私はちょうど4期、12年活動した。私の原点はなんだったのかというと、この地域をとにかく良くしたい。なんとか頑張って、いろいろなグループの人も、市民団体の人も大勢いるが、手を繋いでなんとか直江津を盛り上げていきたい。その思いが原点、一点である。いろいろなことがあった。いろいろ行政に対する文句も言った。それは、地域の人声を聞いて、困っているから伝えてきたので、今はもう十分満足した。これからは新しい人が。老兵は死なず、ただ去るのみの心境である。

【青山会長】

訂正させてもらう。4期14年である。1期目が2年で、そのあと3期である。

その他にあるか。

次に、その他引継事項について、意見等はあるか。

【増田委員】

先ほど、この活動報告会の資料を中心にやったほうがよいと言ったが、今日の資料No.1だけでは、「なんだこれは」というものになってしまうので、私たちはその他に、第11回の資料「これまでの協議を踏まえた改選までの整理事項」を見ると、直江津のまちづくり構想、消防団のあり方、地域ぐるみの防災活動の推進、五智公園整備計画、通年観光プロジェクト、地域独自の予算事業がある。特にこの地域協議会で一生懸命取り組んできたのは、三八朝市と福島城と五智公園。これをしっかりと項目立てをしておかないと、どこかへ抜けてしまうようなことは非常に困る。その他に、前回通年観光プロジェクトに関して、行政から来て話をしてもらった。それから、古澤委員から話があったように、今回の地震に関して、「町内会長協議会は取り組むが、地域協議会も取り組むべきだ」という話があったので、これは絶対落とすわけにはいかない。これらを付け加えて一緒にやっていきたいと思う。委員改選後、第1回の会議は5月の頭に全体会があるかもしれないが、直江津区地域協議会は5月の中旬か下旬頃になってしまう。そうする

と、地震のことはかなり忘れられてしまうので、私はそれが一番心配である。直江津にとって地震のことは住民の生命、財産に係わることで、第一優先でやらなければいけないと思っている。是非行政を呼んで、意見交換をする必要があると思うので、絶対に取り組んでほしい。

もう一つは、通年観光が、3月議会で予算化になり、パブコメがあってパブコメの回答がくるが、その回答に関して地域協議会としてもなんらかのアクションをとっていかなければいけないと思うと、間をおいてしまうとみんな冷めてしまい、それではまずいので、少なくとも地震と通年観光については、なるべく早いうちに取り組んでいかなければいけないと思うので、そのような段取りで進めていってほしい。それから、月1回などとのんびりしたことを言っていられない。5月に全体会が1回、直江津区地域協議会は2回、6月に2回くらいのペースでやってほしいと思う。そうでないと、本当に住民の皆さんの期待に応えられないことになるので、そのような計画で進めてほしい。

【青山会長】

今の増田委員からの地震と通年観光については、次期委員へ引き継ぐこととする。

その他にあるか。

【増田委員】

いつも新聞に前日までの委員の応募状況が出るが、今日は載っていなかった。

【青山会長】

まだ締め切っていない。

【増田委員】

途中経過がずっと載るので、参考までに、直江津は今何人応募されているか聞かせてもらいたい。

【青山会長】

それは事務局で発表できるか。

【小川係長】

応募者数に限り回答できる。本日時点で直江津区の応募状況は、定数18名のところ6名となっている。

【青山会長】

21日にならないとはっきりしないところがあるかもしれない。

次に、その他について事務局へ説明を求める。

【小川係長】

今期の地域協議会の活動は、本日の協議会をもって終了としたい。ただし、任期中に関係課から報告事項等の要請があれば、招集する場合がありますので、ご承知おきいただきたい。

2月6日の第13回地域協議会において、魅力創造課から通年観光計画案について説明を受けた。その際に、田中実委員から出された15点の質問に対して、任期中に書面でお返しすることになっていた。検討会の状況を確認したところ、3月下旬を予定しているとのことなので、届き次第委員の皆様にお送りする予定である。

【青山会長】

他に意見を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。